

福島県医師会

定　例　記　者　会　見

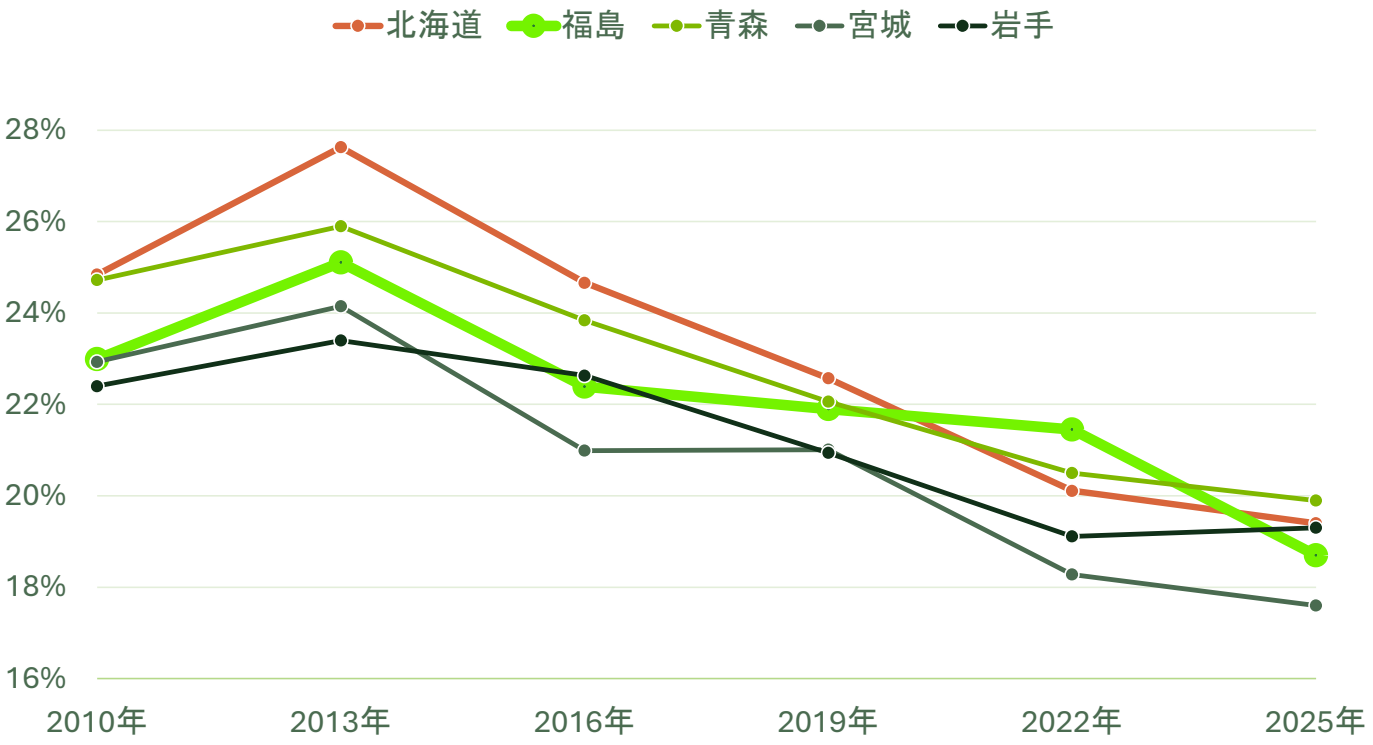
日　時：令和８年１０月１４日（水）１７：１５～
場　所：福島県医師会館　１階　大会議室

福島県喫煙率ワースト１脱出！！！　～その背景と今後～

福島県医師会副会長　　齊　藤　道　也

SMOKING RATE｜都道府県ワースト6

福島県の喫煙率低下が著しい
自治体、関係団体の働きかけ、協力の効果ではないか



2022年→2025年の下げ幅

福島 −2.7pt

全国平均は15.7%（2025年）。
ワースト6は依然として
全国平均を2〜4pt上回ります。

出典：厚生労働省「国民生活基礎調査」（2010・2013・2016・2019・2022・2025年／2025年調査は2026年7月15日公表）／国立がん研究センター がん統計「都道府県別成人喫煙率」（20歳以上・男女計）

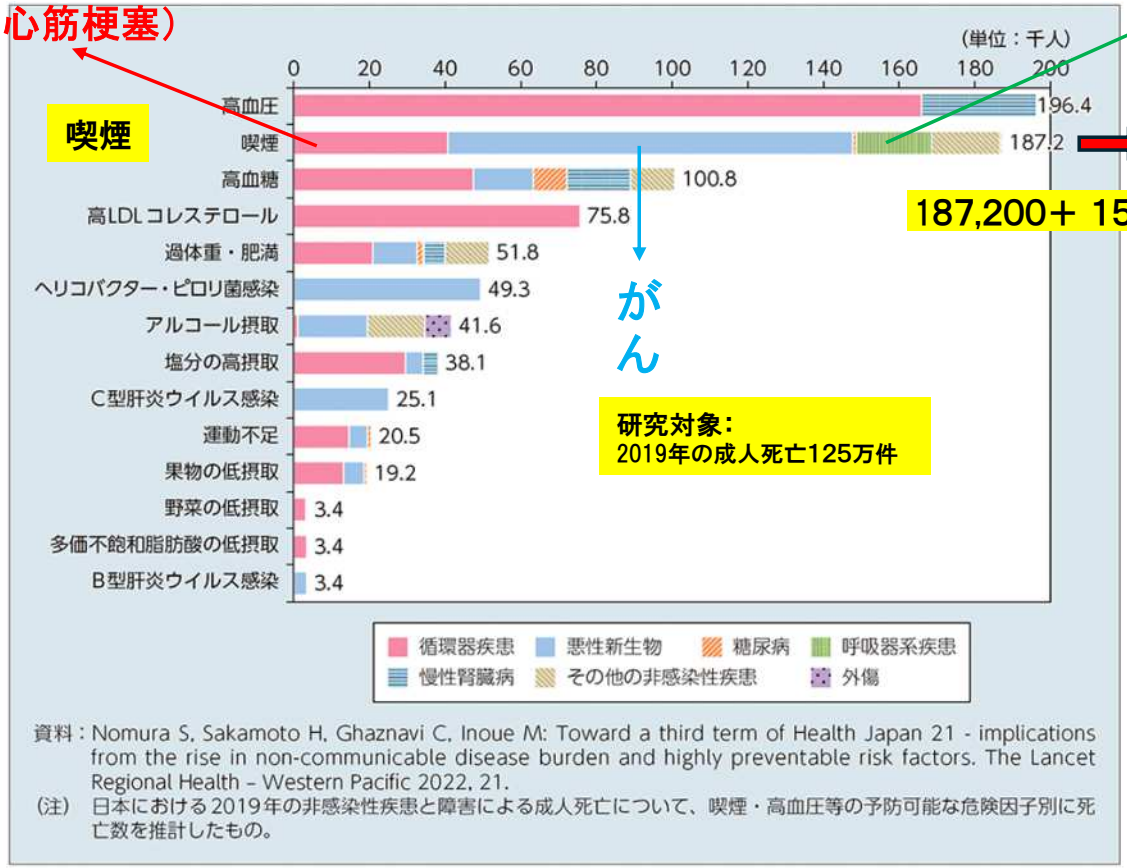
福島県医師会

タバコの煙には、**7,000種類の化学物質**が含まれており、
そのうち**200種類以上が有害物質、70種類以上が発がん性物質**とされています。

疾病死亡の最大リスクは喫煙

循環器（脳卒中、心筋梗塞）

呼吸器（COPD）



187,200＋ 15,000（受動喫煙死）

資料：Nomura S, Sakamoto H, Ghaznavi C, Inoue M: Toward a third term of Health Japan 21 - implications from the rise in non-communicable disease burden and highly preventable risk factors. The Lancet Regional Health – Western Pacific 2022, 21.
（注）日本における2019年の非感染性疾患と障害による成人死亡について、喫煙・高血圧等の予防可能な危険因子別に死亡数を推計したもの。

2019厚労省　政府統計から



福島県医師会

福島県の主な疾患と死亡率の全国順位

生活習慣病による死亡が課題

疾患名	全国順位(死亡率が高い順)	
急性心筋梗塞	男性 1位　女性 1位 [1]	
脳梗塞	男性 7位　女性 5位 [1]	
COPD(慢性閉塞性肺疾患)	男女計 9位 [3]	
全がん(悪性新生物)	全国 4位 [2]	

出典 [1] 健康ふくしまポータルサイト「健康指標」(2021年3月10日) [2] 福島県「第三次健康ふくしま21計画 概要版」(2024年) [3] 福島県ホームページ

福島県医師会

都道府県別喫煙率

福島県は全国ワースト１位から、ワースト４位へ顕著な改善



	男性	女性	総合
2022年	33.2% 全国1位	10.5% 全国2位	全国平均16.1% 21.4% 全国1位
2025年	28.9% 全国3位 4.3%低下	8.6% 全国4位 1.9%低下	全国平均15.7% 18.7% 全国4位 2.7%低下

出典：2023年2026年厚生労働省国民生活基礎調査の概況」



福島県医師会

第三次健康ふくしま２１計画 重点スローガン

令和6（2024）年度から12年間

特集

みんなでチャレンジ！

減塩・禁煙・脱肥満

福島県広報誌（福島県広報課　）ゆめだより　から

これは、福島県、県内各自治体、Tobacco-freeふくしま、福島県歯科医師会、福島県薬剤師会、福島県看護協会、他、福島県公衆衛生協会、他、多くの関係団体、県民の皆様の協力があってのこと



福島県医師会

愛する人をタバコの煙から守りたい

YGCイエローグリーンキャンペーン

ひとを想う活動を社会へ接続する、共通の色と行動

Yellow Green Campaign



YGCの定義・意義：[1][3][13]

福島県医師会

ORIGIN TO SCALE

イエローグリーンキャンペーンは福島県での禁煙学会からのスタートです

2000年代初頭
佐世保市民の発想
イエローグリーンリボン

2010年代
京都、関西各地で
ライトアップへ展開

2020年
福島県医師会が郡山で
日本禁煙学会学術総会を主催
福島・各地で受動喫煙対策の
ライトアップキャンペーン化、
公式リボン作成



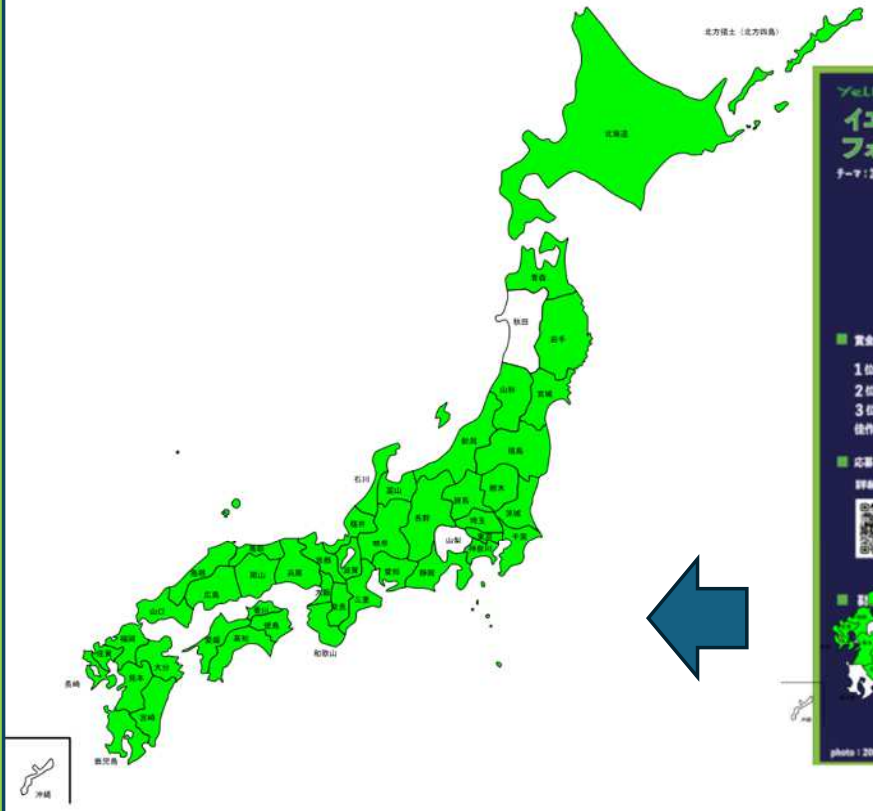
2024年
日本医師会が東京タワー、
東京都医師会が東京スカイツリー、
おおみ北川京都織商組合が
京都タワーの
ライトアップへ展開

現在
全国共通色のもとで
地域ごとに実装、拡大

出典：[1][3][13] 佐世保市・福島県医師会・日本禁煙学会雑誌

福島県医師会

イエローグリーンキャンペーンの全国への広がり



2026.5.31



2025

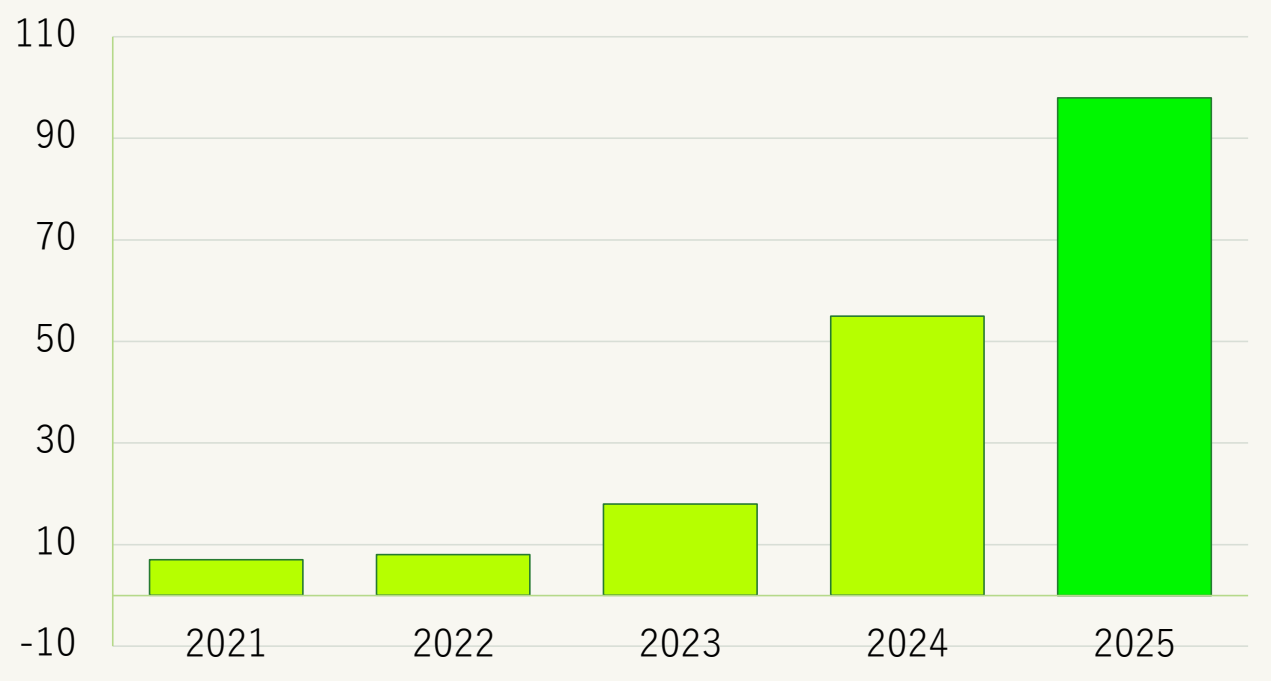


2024

福島県医師会

RAPID SCALE-UP

YGCは4年で「7」から「98」以上へ拡大しました



全国開催数の伸び

約14倍

拡大は成果。
同時に、定着設計を
進めていきます

出典：[6] 日本禁煙学会雑誌 20巻3号（2025）

福島県医師会

CONVENING POWER

医師会は、地域の担い手をつなぐ「結節点」

自治体・住民・医療職・企業・施設・メディア・教育・スポーツを一つの運用へ

- 自治体
- 住民
- 医療職・関係団体

医師会
地域連携のハブ

- 企業・施設
- メディア
- 教育・スポーツ

信頼 × 招集力 × 継続性で、健康活動の地域実装を前へ

医師会は様々なシーンでこれからもハブとして活動していきます

事例：[1][2][4] 医師会・自治体連携



福島県医師会

これから

生活習慣病における県民健康リテラシーの浸透、向上

禁煙外来の拡充（施設数、指導者）

イエローグリーンキャンペーンの継続